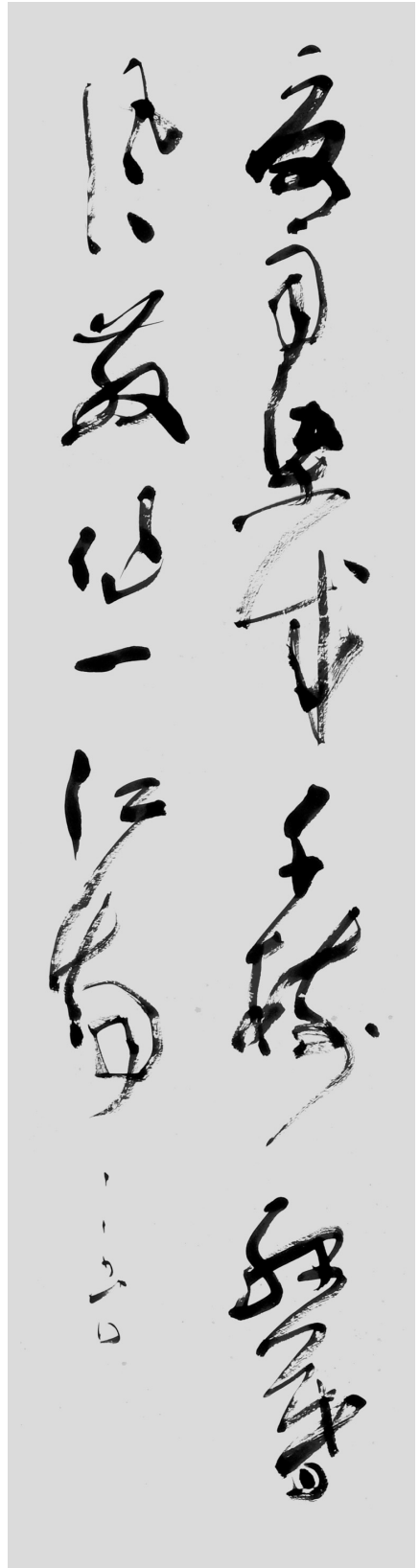


8月25日正午必着

明石春浦先生書



夏雨染成千樹緑。暮風散作一江煙。
かうそめなすすせんじゆのみどり
 ほうふうさんじなすいっこうのけむり

雨毎に緑は色をまし、夕方風が吹けば散りて煙となる。

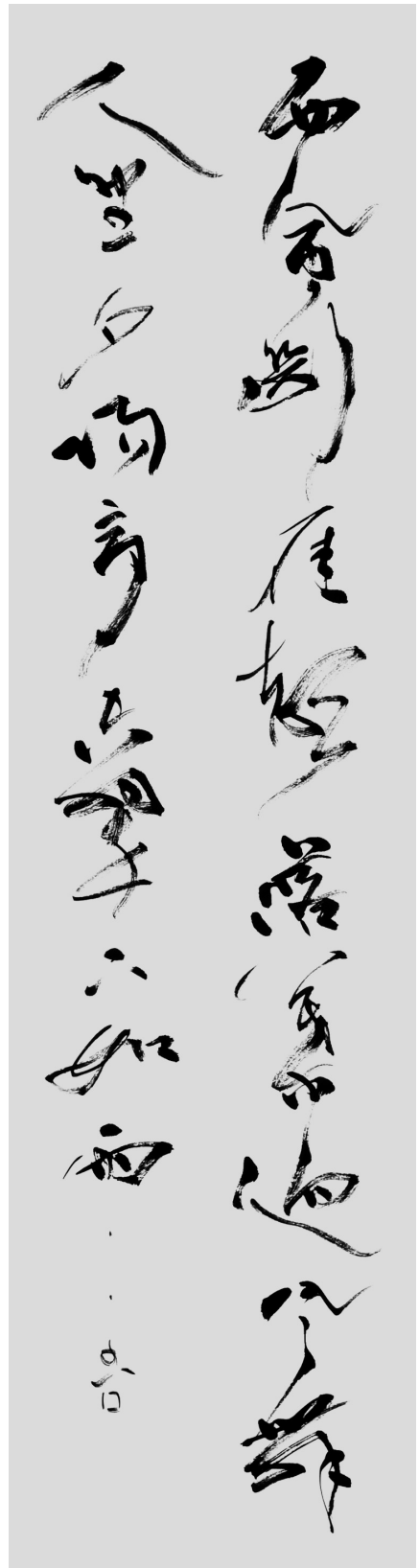
明石幸子書



客路青山外。行舟緑水前。
かくろせいざんのみでん
 こうしゆりよくすいのみまえ

潮平兩岸闊。風正一帆懸。
しおたいらかにしりやうがんひろく
 かぜただしくしていっぼんかがる

(王湾)



三浦士岳先生書

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

西風断雁声 落叶廻風舞
人坐夕阳亭 空翠下如柳

(陳文述)

西風に雁の声もときれがちで落葉も風のまにまに舞う。夕陽さす山亭にいこえば、山の緑は雨ふる如く衣をうるおす。

微風間坐古松(李中)

微風間坐古松

微風の吹く古松の下にしずかに坐する。

晴日暖風生麥氣
綠陰幽草勝花時(王安石)

晴日暖風麥氣を生じ、
綠陰幽草花時に勝る。

初夏の景は春花にまさると。麥氣は麥畑を吹く風。

酬秦系(劉長卿)

秦系に酬ゆ

劉長卿

鶴書猶未至 那出白雲來
舊路經年別 寒潮每日回
家空歸海燕 人老發江梅
最憶門前柳 閑居手自栽

鶴書猶未だ至らざるに 那んぞ白雲より出でて来る
旧路年を経て別れ 寒潮毎日回る
家空しくして 海燕帰り 人老いて 江梅発く
最も憶う 門前の柳 閑居して 手自栽えし

深川やその古池の水を出ておどろく眼して蛙はあたり
(太田水穂)

半紙部規定課題A

8月25日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

8月25日正午必着

行書

曲徑通幽處
 曲徑通幽處

隸書

曲徑通幽處
 曲徑通幽處

明石春浦先生書

草書

曲徑通幽處
 曲徑通幽處

行草書

曲徑通幽處
 曲徑通幽處

すがすがしい晨、年古りた寺に入って行くと、おりしもさしのぼる朝日の光が、空高く茂る林の梢を照らす。曲りくねった径は、すかにおくまった処に通じ、僧房のあたりに、花咲く木々が深く茂っている。山中の風光は、鳥の本然の性を満足させ、潭に映ずる影は、人の心の雑念を拭い去ってくれ、すべての物音が、いまやここにすべてひっそりとしずまり、ただ寺でうちならす鐘と磬の音だけがきこえてくる。

題「破山寺後院」 常建

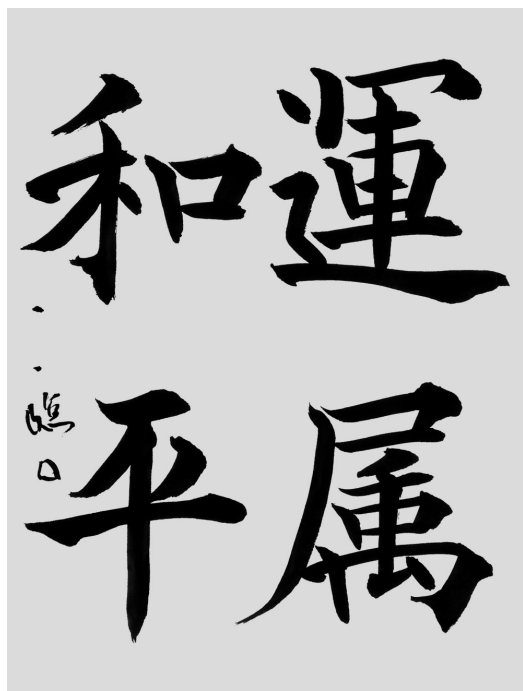
清晨入古寺
 初日照高林
 曲徑通幽處
 禪房花木深
 山光悅鳥性
 潭影空人心
 萬籟此俱寂
 惟聞鐘磬音

破山寺の後院に題す 常建

清晨 古寺に入り
 初日 高林を照らす
 曲徑 幽処に通じ
 禪房 花木深し
 山光 鳥性を悦ばしめ
 潭影 人心を空しうす
 万籟 此に俱に寂たり
 惟だ 鐘磬の音を聞くのみ

(出典)
 朝日新聞社刊
 「三体詩」下より

8月25日正午必着



運は和平に属して、



兩宮春聲先生臨書

初唐 歐陽通・道因法師碑

歐陽通（生年不詳—六九一）は潭州臨湘（河南省）の生まれで、字は通師。儀鳳四年（六七九）に中書舍人に任命され、出世を重ねて、唐の重臣として仕えたが、皇太子の指名問題で苦言を呈し、謀殺されたと言われている。

彼は初唐の三大家と称される歐陽詢の第四子として生まれたが、幼い時に死別しており、父の手ほどきをあまり受けられなかったようである。しかし、母から父の書法を学んだり、市場に出回った父の書を買ひあさったりして一心に歐書を研究、精進したと言われている。そして、後には父は大歐陽、彼は小歐陽と呼ばれ並び称せらるるほどになったと言っ。

現存する彼の書碑は、泉男生墓誌銘とこの道因法師碑である。高さ約3メートル、幅約1.2メートルの巨石で34行、毎行73字から成る。楷法の極則と言われる九成宮醴泉銘などの歐法をしっかりと受け継ぎながら、北魏風の書法を取り入れた力強い起筆や終筆、処々に見られる隷書的な跳ね上げなど独自に研鑽を重ねたと思わせる書風に注目したい。（春濤）

運屬「和平」。人多「好事」。導「玄流於已絶」。闕「妙門之重鍵」。法師以「精博之敏」。為「道俗所」遵。

運は和平に属して、人は好事多く、玄流を已絶より導き、妙門の重鍵を闕けば、法師は精博の敏を以て、道俗の遵う所と為り、

導玄流於已絶闢妙門
 之重鍵法師以精・臨

玄流を已絶いぜつより導き、妙門みょうもんの重鍵じゅうけんを闢ひらけば、法師は精せい（博はくの敏びんを）以て、

△做書参考▽

※この积文での臨書部門の出品は出来ません。

或是或非塵裏事無
 窮無達醉中身・書日

或是或非塵裏事、無窮無達醉中身（戴復古）

是非得失は俗世間の事、貧窮することもなく栄達することも無いのは酔中のわが身。

8月25日正午必着

教育部毛筆



はく
博

しき
識

中学一年

雨宮春聲先生書



こう
航

かい
海

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



しお
塩

みず
水

小学五年

榎戸春龍先生書



しゅく
宿

だい
題

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

8月25日正午必着



おお
大

そら
空

小学三年

藤田幸春先生書



こう
広

こく
告

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

あ せ 小学一年・幼年



森戸春濤書

出 る 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

夏休みを山小屋のキャンプで過ごします

小学五年

海中の生き物について研究をしました

小学六年

水ふんで草で足ふく夏野かな 来山

中学

歴史の古い街だけに落着いた趣がございませす

一般(級位)

大江山おほえやまいく野の道のみち遠ければとほまだふみもみず 天の橋立あまのはしだて(小式部内侍)

大江山おほえやまいく野の道のみち遠ければとほまだふみもみず 天の橋立あまのはしだて(小式部内侍)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

み	う
つ	み
け	で
ま	
し	か
た	に
	を

幼年

な	う
	み
大	は
き	
い	ひ
な	ろ
	い

小学一年

か	う
な	み
の	の
	中
天	は
ご	
く	さ

小学二年

ぎ	夜
ん	空
の	に
	か
星	が
く	や
ず	く

小学三年

の	赤
空	い
に	夕
ひ	や
ろ	け
が	雲
る	が
	西

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

時鳥
きくをりにこそ
夏山の
あをははな
八者那尔
おとらさり
介連

あははな
おとらさり
介連



松永翠舟先生書

時鳥
きくをりにこそ
夏山の
あをははな
八者那尔
おとらさり
介連
(西行)